

栃木フォスタリングセンター通信

とちのき

Vol.10

TFC

栃木県では養育里親を親しみを込めて「とちのきフォスター」と呼んでいます。手のひらの形をした大きな葉を持ち、しっかり根を張り強く大きな木に育つ県木「栃の木」。その「とちのき」と、英語で里親を意味する「フォスター」を組み合わせ、愛情をこめて育てる里親と、その愛情を受け、すくすく育つ子どものイメージを表しています。TFCではこの愛称から機関紙を「とちのき」としました。

令和6(2024)年10月

栃木フォスタリングセンター理事
ファミリーホーム はなの家ホーム長

石川浩子



この夏の学び

7月に幼児と小学生低学年の兄弟を委託一時保護で預かりました。ショートステイ等でも「幼児」を数日預かった経験はあるものの、今もなお（9月末現在）委託中で数か月に及ぶのは初めてのことです。

夏休みにはショートステイも含め子ども8人という日もあり、中高生中心のわが家にとっては、これまでとはかなり違う日常となりました。さらに、私の高齢の母が体調を崩し入院しその対応に追われるなど日ごとに心身の余裕が無くなってきたため思い切ってレスパイトをお願いすることにしました。

しかし、子どもたち全員を預けるのは現実的ではないこと、子どもたちの負担はできるだけ軽く、特に委託一時保護中の兄弟が短期間に居場所を変えることは避けたいとの思いから、預けるのではなく施設の職員さんに来ていただくという実施方法にさせていただきました。少しの時間でも肩の荷を下ろすことができたことに心から感謝したいと思います。

この夏は体温を超えるような記録的な酷暑が続きました。そんな中、これまでにないほどの数の子どもたちと関わりましたが、何とか無事にファミリーホームのとちのきフォスターとしてその役割と責任を果たせたことに安堵しています。それは当法人の仲間を筆頭に、児童相談所をはじめと

する多くの方々と連携・協力・支援なしでは成し得なかったことであり、改めて「チーム養育」が必要不可欠で、子育ては「自己完結」できないということを実感いたしました。

今年度になって「はなの家」へのショートステイ依頼が急増しています。受けてくれるところが不足しているため依頼が集中しているのだと思いますが、それはまた、必要としている家庭が多いからなのでしょう。

社会的養護に繋がってくる子どもたちの最初の試練は「環境の激変」です。それは大人が考えている以上に子どもにとっては大きな負担となります。その解決策の一つとして、学校や保育園など、これまでと変わらず通えるよう地域に暮らす里親さんがショートステイ等の受け皿としてその役割を果たせる仕組みを構築することになっていきますが自治体により進捗状況は様々です。どの地域においてもできるだけ早期に里親への委託ができる環境が整えられることを切に願うばかりです。

最後に…今更ですが、小さい子とは一緒に寝なければなりません。預かっている里親さんのご苦労をお察し申し上げます。寝不足となりますが…一緒に寝ることになったのも何かの縁。その縁を大切にしながら、子どものために尽力したいと思います。

自然体験宿泊 2024

今年も楽しんでほしいです

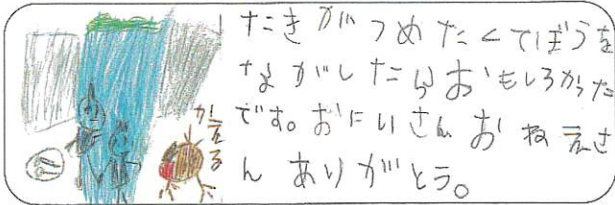
今年も楽しんでほしいです

3年目となる自然体験宿泊を今年も開催しました。Aコース(小1~4)参加した子どもたちの絵や感想と里親さんの声もお寄せいただきましたのでご紹介します。

里親さんへのアンケートより

質問：2泊3日の間の里親さんの気持ちを教えてください(複数回答)

短く感じた -2 長かった -0 心配だった -2 休息できた -全員



4月11日同居してから、初めて家とは別の場所で寝ると、少し心配にはほり子だが、迎えに行、た時の笑顔で参加して良かったと思えました。ありがとうございます。

参加しやすかったです。抽選で友達と一緒に参加したらどうだろうと思いましたが、一着当たったので、行く前の不安も軽減されたようです。

帰りは「着変しかった」と今までの経験の中で最も着たそうです。

本場にお世話になりました。子どもにとって解放的町のびのびできる時間だったと思います。



自然体験宿泊アンケートより

我が家のほっこりエピソード 里親 Iさん

帰りの車の中で、感想を聞いたら、急に泣きだしたので、「どうしたの?」と聞くと「みんなとおわかれがさびしい」と言いました。とても楽しく、みんなと別れがたいくらい仲良くなれたようです。帰ってから、川遊びが楽しくて、「魚やおたまじゅくもいたよ!」と話していました。淹らされた初体験も気に入ったようで、また行きたいと言っています。とても良い経験をしてきたようで、行かせて良かったです。来年もまた参加希望しているので、行かせてあげたいと思います。



第69回栃木県里親大会開催

ご参加ください!
楽しいマジックショーもあるよ!!

日時:令和6(2024)年11月24日(日)10:00~15:10

会場: パルティ とちぎ男女共同参画センター(宇都宮市野沢町4-1)

※こども(年長以上)は、別途YMCAによる体験プログラムを実施



はじめまして！
フォスタリングパートナーです！



乳児院「夢」
里親支援専門相談員

市川晴美

乳児院の職員として里親支援業務に携わらせていただき10年目となります。その間、家庭訪問や里親サロンなど多くの里親さんとお会いする機会があり、交流を深めることができたことを嬉しく思います。

コロナ禍においてはマッチングが制限され関係構築に難しさに悩むことがありました。また里子さんの特性などに対する里親さんのご不安に対して適切な助言をすることに難しさを感じたこともありました。里親さんの委託を願う強い思いと努力で無事に委託に繋げることができました。心から感謝しています。

委託の際には入所児と職員で門出を祝い、里親さんにバトンをお渡ししています。最後に撮影する集合写真には、いつも笑顔の里親さんが写っており、里親支援専門相談員としてこれほどの喜びはありません。

これからも里親さんに寄り添い、きめ細やかな支援ができるよう努めたいと思います。

県南地区で、里親支援専門相談員フォスタリングパートナーを努めてきました。相談員になりたての頃は、「何をすれば？」「自分には何ができるのだろう」と思いあぐねていました。委託に向け、院内での育児指導や数多くのふれあいを近くで見たり、里親さん宅への家庭訪問や、また、ひよこサロンを通して里親さんのお話をたくさん聞かせていただくことができました。

つつい自分の中で何か答えを返さなければ等独りよがりな気持ちがありました。でも、皆さんの子ども達と真剣に向き合う姿をみて、私は、この姿を見守っていくことが大切なのだと思うようになりました。私が答えを出す（おこがましいことですが）のではなく、里親さんの答えに寄り添う事なのかなと思うようになりました。これからも、里親さんと共に些細なことでも、自分のできることを一生懸命に取り組んでいこうと思いますので、よろしくお願い致します。



すみれ乳児院
里親支援専門相談員
戸賀崎真弓

子育て

いろいろある中で

児童養護施設 氏家養護園

心理相談員（公認心理師） 飛田 勇

子どもと一緒に暮らしていると、子どもが思いもかけない行動に走る、感情があふれて收拾がつかなくなるなど、親の方も困惑したり苛ついたりし、強い口調での注意や叱責に及んでしまうこともあります。子どもの上記のような行動や状態に、親はどのように対処するのが良いのでしょうか。

まず、親が落ち着き、冷静になることが大切です。アンガーマネジメントのほか、お守りや小さなぬいぐるみ、タオルなどを身につけておき、気が動転した時などにそれらに触れると落ち着くことができます。

次は、起きて欲しくないけれども、起きそうな子どもの行動や事態を、親が予め想定して対処法を考え、リハーサルをして実際に起きた時に備えておく。地震や火災への備えと同じ、「備えあれば、憂いなし」です。

三番目はそうした事態への対処法です。親の気が動転するような事態では、子どもを注意したり叱ったりしても改善しないことが多く、別のやり方を工夫する必要があります。例えば、黙って子どもの横に座り、「子どもの肩や背中を見て呼吸を感じ取り、それに自分の呼吸を合わせる」、「子どもと同じ姿勢やしぐさを真似てみる」など、これらをしていると、子どもの気持ちや考えが伝わってくる、以心伝心です。伝わってきたことを手掛かりに、子どもの気持ちや考えを聴いていくと、案外冷静に話ができるものです。

子どもは、時に荒唐無稽な話やとても実現しそうな話などをします。そんな時、親はつい否定しがちですが、否定されると、子どもは自らの思いや考えを話さなくなります。前者は、「夢があつていいね」、後者は、「大きい夢だね」と言い換え、親が先回りして結論を出さないようにします。子どもの性格や行動傾向の特徴についても、「落ち着きがない→エネルギーが豊富である」「臆病だ→慎重だ」などように、別の角度から見て肯定的な表現にすると、子どもは自分を肯定できて前向きになれるのです。

●心理相談をお受けしています。お問い合わせはTFCまで 心理相談：毎週土曜日（要予約）

フォスタリングセンターって何をするとところなの？

栃木フォスタリングセンターは里親養育に関する様々な支援をしています。



●養育支援

里親養育に関してわからない事や困った事など、どんなことでもお気軽にご相談ください

(火曜日～土曜日 9:00～17:00) TEL 028-612-6970



来所でも



電話でも



メールでも



ホームページからでも

里親さんの養育を応援するために、電話・来所などによる相談を受け付けています。また家庭訪問をしたり、里親さんが気楽に語り合える場として、毎月、里親カフェも開催しています。



里親カフェ

●普及啓発・リクルート



制度説明会



広報活動

里親制度を知ってもらうために制度説明会を行ったり、登録希望者の個別相談に応じます。新聞、テレビ等での広報、また、イベント会場などでパンフレット配布などを行っています。無料の出前講座も実施しています。

●研修・トレーニング



登録に必要な研修や、初めて子どもを養育する方に向けた研修、その他養育力を高めるための研修やトレーニングを行います。

時間外電話相談

毎週 水曜日 17:00～20:00

※養育中のお子さんに関する相談に限ります。

080-8082-2298

お子さんの養育で困っている方、一人で悩まずにお気軽にご相談ください。



■メール会員登録募集中(無料)■

- メールアドレスを登録すると、研修や講演などの案内や、センターからの様々な情報が送られます。登録は栃木フォスタリングセンターのホームページの「お問い合わせ」から、氏名、メールアドレス等をお知らせください。

TFC
栃木フォスタリングセンター
TOCHIGI FOSTERING CENTER

〒320-0065
栃木県宇都宮市駒生町1837-3
tel:028-612-6970
fax:028-612-6971
[email:tfc2021@circus.ocn.ne.jp](mailto:tfc2021@circus.ocn.ne.jp)

ホームページもご覧ください



HPのQRコード



開所時間:9:00～17:00

定休日:日曜日、月曜日、祝日、年末年始

ホームページ: <https://tfc2021.jp/>